令和3年12月31日（通巻第200号）

***ボウルズ・ジャパン　ブリテン***

　　　　　　　　　　　発行元：認定NPO法人ローンボウルズ日本　総務部



2022年の年頭の挨拶

**理事長　児島久雄**

ＢＪ会員の皆様　新年明けましておめでとうございます。

2020年から2021年と2年続けて新型コロナウイルス感染が世界中を荒らしまわり、いまだに収束

の見通しは立っていません。おかげで国内の日本選手権大会等は2年続けて中止になり、アジアで

初の開催となるワールドマスターズゲームズ関西も延期・再延期の繰り返しで、とうとう2026年

5月までの延期となるようで、参加意欲を燃やしておられた会員の皆様もモチベイションの維持に苦労しておられることでしょう。

この状況下でもBJとしてはローンボウルズという素晴らしい生涯スポーツの炎を消すことの

ないように、新型コロナウイルスの顔色を窺いつつ折り合いをつけながら、できる範囲のことを進

めてきていただきました。普及促進に向けて各地域でそれぞれの実情に合わせて頑張っていただき

ました。そのおかげでと言えるかどうかはさておき、東京では昭和記念公園のローンボウルズ場の人工芝の張替えができたようです。横浜ではラポールさんを巻き込みインドア・カーペット・グリーンの再活用の働きかけがあるようです。関西ではしあわせの村のローンボウルズ場の人工芝の張替えも実現し、明石も補修工事が出来ました。まだまだ課題はいっぱい残ってはいますが、ＢＪ会員の思いが通じたのではと思います。

2022年は、新型コロナウイルスの状況をにらみながらとはなりますが、各地での選手権大会の

開催、第7回ジャパンオープン国際大会の開催、アジアパラ競技大会への選手派遣、さらには2023

年の世界選手権大会への出場を目指して選手強化事業の推進等を目標にして計画を立てています。

みんなで力を合わせて頑張りましょう。

そのためにはなんと言っても、活力のある会員の獲得が基本条件となります。みんなで知恵を出し

合って、会員数3割増を目標にして行きたいと思います。

気軽に出来るスポーツでありながら、たいへん奥の深いスポーツであるローンボウルズを是非

日本中に広めていきましょう。

本年も宜しくお願いします。

**会長　森　紘一**



皆様　新年明けましておめでとうございます。

　　気がついてみたら、今号がBJブリテンの200号になっていました。

第１号は2005年(平成17年）5月に発刊されましたが、その後休むことなく毎月1回の発行で、

約17年間続いていることになります。

発刊は、当時の日本ローンボウルズ協会〈1966年設立）と日本ローンボウルズ連盟（1986年設立）の２つの日本代表組織を統合して日本唯一の統括組織として任意団体日本ローンボウルズ委員会の活動を開始したことをきっかけとして、① 団体の活動記録の保存手段として、② 会員への情報伝達手段として、③ 会員相互の情報発信・交流手段として、BJブリテンを始めたものです。

2005年に日本ローンボウルズ委員会が発足する以前にも日本のローンボウルズ組織としては約40年の歴史がありますが、まとまった資料は残っていないために歴史を振り返ることは出来にくくなっています。一方、2005年以降の歴史はBJブリテンを見ることでよく把握できます。

組織としてはその後、2008年（平成20年）7月にNPO法人化、2014年（平成26年）10月に認定NPO法人化として社会的信用を充実し、2009年（平成21年）10月には第１回ジャパンオープン国際大会をキックオフさせたことでアジア諸国のローンボウルズ関係者からも一目置かれる存在になりました。さらに、2017年（平成29年）からは日本パラリンピック委員会に加盟することによって、日本の中央スポーツ競技団体としての位置付けも確立されました。

しかし、BJブリテンの目的として掲げた上記の３項目のうち、③ 会員相互の情報発信・交流手

段として、については未だその機能を十分に果たしてはいません。またブリテンのスタイルとして

も発足当時から全く進歩しておらず、団体の情報機関紙としてはお粗末なものです。

　組織としても、目標としてきている知名度の向上、競技施設の新設はほとんど達成できておらず、

会員数の拡大も遅々として進みません。むしろ会員の高齢化で、人材の枯渇化が重大な懸念事項

となっています。老兵はいずれ去らねばなりません。

　我こそはと思う、バイタリティーがあって、発想が豊かで、新鮮な人が、思い切って活躍してくれるようになる新年となることを切に期待いたします。

2021年12月の行事、活動などの結果

（１）令和3年度〈公財〉日本レクリエーション協会加盟団体運営代表者会議に出席

主催：〈公財〉日本レクリエーション協会

場所：国立オリンピック記念青少年センター　センター棟501会議室

日時：12月9日(木)9:00-12:00

出席者：松原敬之（BJ理事、関東LB協会会長）

議事内容：

１．全国体力・運動能力調査結果と国民の体力つくり支援策について（スポーツ庁）

　２．スポーツ団体ガバナンスコードについて（スポーツ庁および日本ｽﾎﾟｰﾂ振興ｾﾝﾀｰ）

　３．スポーツ安全保険の一部改訂について（公財スポーツ安全協会）

　４．令和４年度活動基本方針および重点施策について（公財日本レクリエーション協会）

（２）BJ公認アンパイヤ―資格認定講習会（関東地区分）

主催：BJ技術・競技部

場所：横浜市YC&ACローンボウルズグリーン

日時：12月11日(土)9:00-17:00

内容：ルールブック座学研修およびメジャリング実技研修

受講料：1,000円/人

受講者：15名（既有資格者　9名、新しく資格取得を目指す者　6名）

講師：合田純二BJ技術・競技部長

備考：新しく資格取得を目指す方の試験会は、2022年1月16日(日)10:00-17:00、YC&AC

　　　にて実施（５ページにも掲載）

（３）障がい者スポーツ指導員全国研修会

主催：〈公財〉日本パラスポーツ協会

場所：神戸市しあわせの村

日時：12月11日（土）11：30～12月12日（日）11：45まで

内容：全国から集まった障がい者スポーツ指導員〈約300名〉に対して各種講演会などが

開かれた。第５分科会として、ローンボウルズ場でのローンボウルズ競技の紹介と

　　　体験会が開かれ児島理事長らの兵庫車椅子クラブ員が指導した。第５分科会への参加

者は11日が17名、12日が20名であった。

（４）BJ理事連絡会（Ｗeb会議）第5回開催

日時：12月18日（土）20：00～21:30

場所：ZoomによるWeb会議

出席者：理事13名、オブザーバー1名　　計14名　（欠席理事は11名）

議題１：2022年8月（予定）アジア選手権大会（中国新郷市）および2023年8月（予定）世界選手権大会（オーストラリア・ゴールドコースト）へ出場するチームを選考するための強化対象選手の募集および強化訓練に関する計画について

議題２：2022年度　U-25大会の開催に関する計画について

（５）BJ理事理事会 開催

日時：12月29日（水）20：00～21:00

場所：ZoomによるWeb会議

出席者：理事19名 (会議出席9名、委任状提出10名)、欠席理事は5名

オブザーバー2名

議題：2022年8月アジア選手権大会（中国新郷市）および2023年8月世界選手権大会（オーストラリア・ゴールドコースト）へ出場する選手を強化訓練し、選抜するための「強化対象選手」の募集することについて、承認決議されました。

（６）明石市総合体育大会ローンボウルズ大会の開催結果

主催：関西ローンボウルズ協会、明石市ローンボウルズ協会

主管：Aリーグ実行委員会

場所：明石公園ローンボウルズグリーン

日時：12月12日(日)9:00-17:00

競技種目：男女不問ﾄﾘﾌﾟﾙｽﾞ戦。14チームが参加。、一人3球×8エンド戦を4ゲーム実施。

結果：　　　　　　　　　　　　　　 　Δ＝総得失点差

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 選手名（所属クラブ） | 成績 |
| 1位 | 福井加代子、山崎清子、西条和子（ALBC） | 3勝1分け |
| 2位 | 垣内紀子、関口　溜、奥田　昭（ALBC） | 3勝1敗、Δ＝+9 |
| 3位 | 田中まちこ、岡本直樹、アランマージェリソン | 3勝1敗、Δ＝+8 |

（７）Aリーグカップ2021年大会(最終節)

主催：関西ローンボウルズ協会

主管：Ａリーグ実行委員会

場所：明石公園ローンボウルズグリーン

日時：12月5日（日）、19日（日）13：00～17:00

結果：12月19日（日）終了時点での成績。(最終結果）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | A-1リーグ  | A-2リーグ |
| １位 | 長島 俊和（A L B C）　198点 | 坂本 紘一（神戸ﾀｯﾁｬｰｽﾞ）　　164点 |
| 2位 | 松本 惣一（ＡＬＢＣ） 171点 | 山﨑 清子（A L B C） 　　　 156点 |
| 3位 | 小野 宦司（ＡＬＢＣ） 167点 | 宮北 茂　（神戸ボウルズ）　 153点 |

　　　　　　平均得点上位者

　　　　　1位：西條 和子12.2点/回　　2位：森 紘一11.1点/回　　3位：野上 哲男10.7点/回

（８）SVリーグ2021年度後期大会(第3,4節)

主催：関西LB協会

主管：SVリーグ実行委員会

リーダー： ALBC、会計：学園ワイズ 、記録：村人クラブ

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：12月4日（土）、18日（土）13:00～16:00

競技結果：12月18日　終了時点での成績。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 順位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 | 7位 | 8位 | 9位 | 10位 |
| チーム名 | 関西LB　協会　 | 学 園-B　 | 兵庫車椅子B　 | ﾀｯﾁｬ-ｽﾞB | ALBC | 兵庫車椅子B　 | ﾀｯﾁｬ-ｽﾞA | 学　園-B　　　 | 村人クラブ | ﾀｯﾁｬ-ｽﾞC |
| 勝点 | 24 | 18 | 15 | 14 | 11 | 10 | 10 | 9 | 3 | 3 |
| 得失点差 | +41 | +48 | +13 | +18 | －10 | －15 | －22 | －1 | －33 | －39 |
| 得点合計 | 91 | 96 | 70 | 75 | 74 | 　68 | 65 | 66 | 52 | 55 |

（９）Mリーグ2021年度大会(第13,14節)

主催：関西LB協会

主管：Mリーグ実行委員会

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：12月8日（水）、22日（水）13:00～16:00

競技結果：12月22日（水）終了時点での成績（ただし参加率70％未満は除く）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 順位 | 氏　名 | 平均ポイント | ポイント合計 | 出場試合数 |
| １位 | 野上 哲男 （神戸タッチャーズ） | 5.78 | 104.0 | 18 |
| ２位 | 大杉 正樹（神戸ボウルズ） | 5.73 | 126.0 | 22 |
| ３位 | 井上千加子（神戸タッチャーズ） | 5.70 | 114.0 | 20 |

2022年1月、2月の計画、予定

（１）BJ理事連絡会（Ｗeb会議）第7,8回開催

日時：1月22日（土）20：00～21:30　第7回

2月19日（土）20：00～21:30　第8回

場所：ZoomによるWeb会議

議題：追って連絡

（２）Aリーグカップ2022年前期大会(第1,2節)

主催：関西ローンボウルズ協会

主管：Ａリーグ実行委員会

場所：明石公園ローンボウルズグリーン

日時：1月9日（日）、23日（日）13：00～17:00

（３）SVリーグ2021年度後期大会(第5,6節)

主催：関西LB協会

主管：SVリーグ実行委員会

リーダー：ALBC、会計：学園ワイズ 、記録：村人クラブ

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：1月8日（土）、22日（土）　13:00～16:00（12時45分までに受付完了のこと）

　競技内容：10チームが参加し、ペアーズ戦を２ゲーム行う。

（４）Ｍリーグ2021年度大会(第15,16節)

主催：関西LB協会

主管：Mリーグ実行委員会

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

日時：1月12日（水）、26日（水）13:00～16:00

競技内容：チーム編成は当日の抽選にて決定。参加人数によりペアーズ、トリプルズ、

フォアーズ戦を行う。8エンド戦を2ゲーム行う。

ポイントの計算方法は、｛勝ちエンド数×１ポイント+ゲーム勝利のとき2ポイント

（引き分けなら1ポイント）｝

参加申込み：事前申込みは不要。当日、会場への来場で可。チーム編成は当日の抽選にて決定。

（５）BJ公認アンパイヤ―資格認定試験会

主催：BJ技術・競技部

関東地区分　日時：1月16日(日)10:00-15:00

場所：横浜市YC&ACローンボウルズグリーン

関西地区分　日時：2月13日(日)10:00-16:00

場所：神戸市しあわせの村ローンボウルズグリーン

内容：ルールブック筆記テスト（２時間）およびメジャリング実技テスト（3時間）

受験料：1,000円/人

受験者：新しく資格取得を目指す人で、事前の講習会を受講した人

（６）明石公園ﾛｰﾝﾎﾞｳﾙｽﾞ場　ボウル保管庫についてのお知らせ

ボウル保管庫は施設管理者の理解を得て、ﾛｰﾝﾎﾞｳﾙｽﾞ愛好者が使用するマイボウルを取り

決めに則り保管利用できる施設です。（無償）

利用期間は、原則として、毎年1月1日から１２月３１日となっております。

2022年度の利用申請は、クラブごと集約にて１２月上旬から受付し、希望者は全員継続使用できることになりました。（過去の個人別　継続利用申請方式を昨年からクラブ別まとめた申請方式に変更しています。なおクラブに属さない方は個人申請としています。）

利用棚番号が一部の方で変更になっております。年度途中で撤収する方はクラブ代表を通

じて申し出ください。保管できるのはマイボウル1セット及びプレイに必要な物（布巾　メ

ジャー　ワックス　ﾊﾝﾄﾞﾘﾌﾀｰなど）のみとなっています。

なお　保管棚番の空きスペースが十分ありますので、利用希望者は年度途中からでも申請く

ださい。　　　　（関西ﾛｰﾝﾎﾞｳﾙｽﾞ協会 明石LB場管理ｸﾞﾙｰﾌﾟ　　坂本　紘一）

会員からの投稿

**門川京都市長がローンボウルズを体験❗️❕**

11月27日（土）L.C.KYOTOの京北での練習会に門川京都市長がお越しになりました。

「その後、どうですか？」と第一声。　昨夏、初めてローンボウルズの体験をされ、今回が2回目。

井上選手が、今年コロナ禍でも開催していただくことができた大会への感謝と、L.C.KYOTOの戦績を伝えると、「凄いですね！」とのお言葉を頂きました。

そして「丸くないボウルやったなぁ」と、早速ボウルに手を伸ばされ、熱心にボウルの特性を聞かれました。

袴姿での投球。

門川市長、フォームが綺麗なんです！！



最後に写真撮影✨

このときだけは無言を条件にマスクを外しました。



市長から激励の言葉を頂くと共に，ボウルズの魅力を更に知って頂く良い機会となりました。

　以上　　LC京都クラブからの報告です。

**日本最初のローンボウラーは高知出身!?**　　　　ローンボウルズ高知ＵＣ　川本真浩

　川田龍吉（1856-1951）という人物をご存知でしょうか。元土佐藩士で岩崎弥太郎らと三菱を築いた川田小一郎の長男として現在の高知市で生まれた人です。

「男爵いも」の男爵だといえば、思いあたる方もいらっしゃるでしょう。

南国土佐出身の龍吉が後半生を捧げた北海道での農業に関わる道具類など、彼が遺したさまざまな資料は、以前はＪＲ渡島当別駅そばにあった男爵資料館で公開展示されていましたが、いまは新函館北斗駅から北へ３キロほどにあるThe DANSHAKU Loungeで展示されています。

かつて訪れたことのある男爵資料館が休館になって残念がっていた私も、コロナ禍の隙間をぬってようやく、その新施設を訪れることができました。

そこで出会ったのが写真のようなローンボウルズ用具の展示です。

　龍吉は２０歳代のころ―１８７７年から７年間―イギリス北部スコットランドの大都市グラスゴーに留学して造船工学などを学んでいました。

当時、グラスゴーあたりではローンボウルズがたいへんさかんでした。市内外にクラブが多数あり、同じくボウルズが盛んだった南隣のエアシア（州）とグラスゴーのクラブが集まってサイド戦形式のエグリントン・トロフィー争奪戦が毎年おこなわれるほどでした。

現在ワールドボウルズが定めている競技規則は、この頃のグラスゴーあたりで行われていたボウルズの競技規則を直接のルーツとしています。

　幕末から明治初期にかけて多くの日本人が欧米に出かけました。

「ちょっとボウルを転がしてみた」ぐらいなら龍吉よりも前にやった日本人がいても不思議ではありません。しかし龍吉の場合は、グラスゴーに７年も住み、かつ帰国後も用具を所持していたこと

（ここまでは確かな事実）から、グラスゴーのクラブでプレーしていた可能性があります（これは今後要調査）。

ロコモービル社の自動車を購入し自ら運転して通勤した（そのクルマもThe DANSHAKU Loungeに置かれています）ことから日本の「オーナードライバー第１号」ともいわれている龍吉は、本場スコットランド仕込みの日本人「ローンボウラー第１号」かもしれません。

　高知出身の龍吉とローンボウルズとの関係にまつわる話は、高知大学でローンボウルズに取り組む私たちにとって、何かしら縁を感じますし、大きな励みにもなります。

ひきつづき学術調査を進め、今後のＢＪ通信でもその研究成果の一端を報告できれば、と考えています。

《参考文献》１９世紀半ば頃のグラスゴーやエアシアにおけるローンボウルズに関することがらについては、学術雑誌『海南史学』５９号（２０２１年）に掲載された拙稿「衰退しない「旧き娯楽」―一九世紀イギリスのローンボウルズにみるスポーツと娯楽の歴史」をご参照ください。

